

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名 : 南つくし野保育園

クラス : 3~5歳児クラス オリオングループ

年間テーマ : お寿司の興味から魚の生態へ

1、活動のテーマ

<テーマ>

お寿司で食べられている魚を知る。

<テーマ設定の理由>

お寿司になっている魚の種類を調べることで、実際の大きさや生態にも興味を拓げる。

2、活動スケジュール

8月~9月にかけて…

- グループ活動時に年長児が中心となってお寿司のネタになっている魚の中からマグロとサーモンについて調べ、模造紙に描いていく。その後、他の生き物も制作。
- 完成した絵をお集まりで発表し、壁に掲示。
- 担任間で子どもの興味の拓がりを WEB を使って話し合い、今後の活動の拓がりを予測。必要な素材や環境を用意する。

3、活動のために準備した素材や道具、環境設定

- 寿司のネタにある魚を調べられるよう図鑑を本棚に用意。
- 遊びの中で魚を知ることができるようカードゲームを環境に設置。
- 実物と同じ大きさに描けるよう、模造紙を購入。
- 完成した魚を壁に貼り、みんなが見れるようにした。

4、探究活動の実施

<活動の内容>

- 寿司として食べられている魚には何がいるかを調べる中で、色や大きさについても興味を持ち始めた。
- 調べた魚の写真を見ながら、実際の大きさを描いてみる。
- 完成したマグロ、サーモン、アナゴを壁に貼ると自分の身長と比べる姿が見られた。長さを測れるように身長計を隣に作り、それぞれの大きさをわかるようにした。すると、他の生き物も作り始めたり、種類によって雄と雌とで大きさに違いがあることに気付いていた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>



図鑑を見ながら、色や形、大きさを調べます。
「マグロの215cmってどれくらい？」
メジャーを用意して測ってみると「こんなに大きいの!？」と驚きの表情です。
模造紙一枚だと足りないね…と2枚繋げて準備。
色もじっくりと観察し、濃さを調整しながら再現していました。

大きさがわかるようにと完成した絵を壁に貼ってみると…
「どっちが大きい?」「私と同じだ!」横に並んで身長を比べる姿が見られるように。



魚や自分たちがどのくらいの大きさなのかがわかるように、身長計も作成。数字にも興味を持ち始め「100あった!」など、様々なものを測って楽しんでいました。

5、振り返り（振り返りによって得た保育士の気づき）

- 一緒に調べる中で、子どもの気づきや疑問を受け止め、対話をする中で「やりたい」ことが明確になっていった。実物と同じ大きさのものを作ったことで、長さや自分の身長など新たな興味へと広がっていき、魚の絵を見るだけでなく、背比べなど、新たな視点で面白い様子があった。
- 調べたことを発表したり、作品をすぐに掲示すると、周りの子も“作ってみたい”と意欲が高まったり、友だち同士でやり取りをするきっかけになり、学びを共有する機会にもなっていた。
- 今後は様々な生き物を調べて描く中で、大きさだけでなく、生態や特徴などの興味が深まるよう、子どもの気づきやつぶやきを受け止め、活動を展開していきたい。